

# 2015

## ASSISTIVE TECHNOLOGY

# 鎌田・小竹・二瓶研究室

質問はこちらへ!  
二瓶講師  
mnihei@sl.t.u-tokyo.ac.jp  
04-7136-4670



人間・乗り物・デザインをキーワードに「安心・安全で快適な生活に役立つ技術」に関して  
様々な研究成果を世の中に出力しています



**1** 地域交通の未来を一緒に考えよう  
地方地域の住民の足を確保するため、  
多様な交通手段の特性と役割を明確にし、  
地域の特性に合わせた組み合わせを  
社会実験などを通して検討します。



**2** 自動運転の時代を切り開く  
実用レベルの自動運転技術を用いて、  
運転を人と機械がシェアするシステム  
の構築に向けて開発を行い、シミュレー  
タ模擬市街路などで検証します。

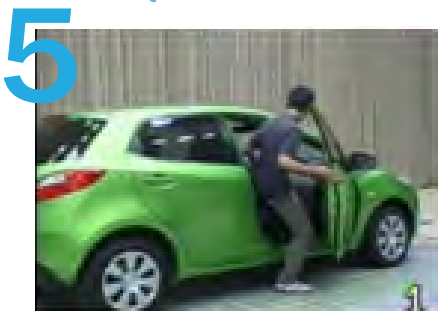


**3** 自在に操作できる車椅子を目指そう!  
DMDを患い、手指の運動が制限される  
患者が車椅子を操作するための入力装  
置の開発を行います。



**4** 人の役に立つ機械をつくろう!  
バリアが存在する環境で、障がい者が自  
律的に快適に移動できるように支援す  
る機器の開発、制御を行います。

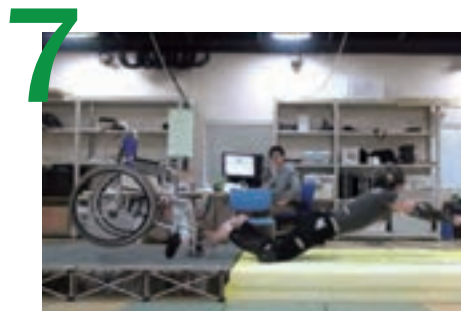
# 創造を世の中に！元気のよい学生来たれ！



**5** 君が車内設計した車が販売されるかも！高齢者の生活をサポートしよう！  
自動車乗降時に身体的負担の少ないス  
ムーズな動作で乗り降りできるようにす  
るための車内空間を設計します。



**6** ひとり暮らし高齢者の日常生活能力の  
低下を改善するために、環境センシ  
ングシステムを用いて認知・身体機能を測  
定する手法を開発します。



**7** 福祉機器による転倒を防ごう！  
機器を安全に使うために、高齢者の転  
倒対策として用いる支援機器の有効性  
の検証ツールの開発や人体モデルを用  
いたシミュレーションを行います。

### ☆今年のテーマ☆

- 1 新しい手段の活用も考えた地域交通の構成論
- 2 自動運転技術を用いたシェアードドライブシ  
ステムの開発
- 3 手指の微小変位・力から機能拡張を実現する  
モビリティ用インターフェイスの開発
- 4 快適性を向上させるバリアフリー移動・移乗  
自律支援技術に関する研究
- 5 乗降時の動作を誘導・支援する自動車の空間  
設計に関する研究
- 6 環境センシングによる独居高齢者の日常生活  
支援策に関する研究
- 7 高齢者の転倒と転倒予防に関する研究

## 説明会

場所

工学部 8 号館 023 号室

日時

4月7日：14:00~/16:00~

4月8日：11:00~/14:00~/16:00~

